



注意事項と制約事項

- [注意事項と制約事項, on page 1](#)
- [DCNM-SE を Nexus Dashboard に変換する前の TPM パーティションの確認 \(3 ページ\)](#)

注意事項と制約事項

Cisco DCNM をインストールおよびアップグレードのガイドラインと制限は、次の通りです。

一般的なガイドラインと制限事項

- 次のパスワード要件に従います。要件に従わない場合、DCNM アプリケーションは適切に機能しない場合があります。
 - 最小でも 8 文字を含み、1 個のアルファベットと 1 個の数字を含む必要があります。
 - アルファベット、数字、特殊文字 (-_#@&\$ など) の組み合わせを含むことができます。
 - DCNM パスワードにこれらの特殊文字を使用しないでください。 <SPACE> " & \$ % ' ^ = < > ; : \ | / , . *
 - Cisco DCNM リリース 11.0(1) から、管理パスワードに許可されている文字は、OVA および ISO インストールに制限されています。従って、アップグレード中に、DCNM 11.0(1) または 11.1(1) に使用されている古いパスワードは無効です。ただし、アップグレード中は別のパスワードが許可されています。

入力されている新しい管理パスワードは、次のシナリオで使用されています。

—コンソールを経由して DCNM アプライアンスにアクセスします。

—SSH を経由してアプライアンスにアクセスします。

—アプライアンスで実行されているアプリケーション (例 : Postgres DBMS)

ただし、アップグレード後 Postgres DBMS は DCNM 10.4(2) で取得されているバックアップから復元されているため、DCNM リリース 10.4(2) で使用されているパスワードを使用して、Cisco DCNM Web UI にログオンする必要があります。

- DCNM をインストールするときに、起動プロセスを中断しないでください (Ctrl+ALT + DELETE キーを押すなど)。中断する場合は、インストール プロセスを再起動する必要があります。
- インストールまたはアップグレード後、そして Cisco DCNM アプライアンスでその他の操作を実行する前に、タイムゾーンを設定します。タイムゾーンの設定には NTP サーバを使用します。
- ネイティブ HA セットアップで実行中の Postgres データベースのステータスを確認するには、**pg_ctl** コマンドを使用します。**systemctl** コマンドは使用しないでください。
- ハッシュ (#) 記号でパスワードを開始しないでください。Cisco DCNM は、# 記号で始まるパスワードを暗号化されたテキストと見なします。
- 基盤となるサードパーティ ソフトウェアを個別にアップグレードしないことを推奨します。必要なソフトウェア コンポーネントはすべて、インラインアップグレード手順で更新されます。DCNM アップグレードの外部のコンポーネントのアップグレードは、パフォーマンスの問題を生じさせます。

新規インストール

- 仮想アプライアンス (OVA/ISO) の場合、インストーラはオペレーティング システムと Cisco DCNM コンポーネントをインストールします。
- DCNM OVA は、vSphere クライアントを ESXi サーバに直接接続することで展開できます。

アップグレード

- SSH セッションからインラインアップグレードを実行しないでください。セッションがタイムアウトし、アップグレードが不完全になることがあります。
- Cisco DCNM リリースにアップグレードする前に、以前のリリースでテレメトリを無効にします。
- コンピューティングノードを展開する前に、テレメトリを無効にします。コンピューティングノードを展開後、テレメトリを有効にできます。
ネイティブ HA モードの DCNM の場合、テレメトリは 3 個のコンピューティング ノードのみでサポートされます。
- Network Insights アプリケーションを実行する必要がある場合、3 個のコンピューティングノードをインストールする必要があります。
- インターフェイス設定を変更する前に、テレメトリを無効にします。設定を変更後、テレメトリを有効にできます。
- バックアップと復元プロセスの間、コンピューティングノードはバックアップにも含まれます。新しいコンピューティングを展開後、コンピューティングノードでバックアップを復元できます。

バックアップがなかった場合、3 コンピューティング ノードを接続解除し、すべてのコンピューティング ノードでデータを消去します。Cisco DCNM Web Client UI で、[アプリケーション (Application)] > [コンピューティング (Compute)] に移動します。[+] アイコンを選択して、コンピューティング ノードに参加します。

- コンピューティング ノードでデータを消去するには、SSH セッションを通してコンピューティング ノードにログオンして、**rm -rf /var/afw/vols/data** コマンドを使用してデータを消去します。



Note すべてのコンピューティング ノードで上のコマンドを個別に実行し、データを消去する必要があります。

- アップグレード後に NIR アプリケーションを起動する前に、DCNM Web UI で [アプリケーション (Application)] > [設定 (Preferences)] を選択します。必要に応じてネットワーク設定を変更します。アップグレード後にファブリックのテレメトリを有効にする前にネットワーク設定を変更しないと、設定は完了しません。この問題を解決するには、NIR アプリを停止し、ネットワーク設定を変更してからアプリを再起動する必要があります。

DCNM-SE を Nexus Dashboard に変換する前の TPM パーティションの確認

DCNM 11.5 (1) 以前では、TPM パーティションが破損している可能性があります。これにより、Cisco Nexus Dashboard ソフトウェアのインストールが失敗します。Cisco DCNM-SE から Cisco Nexus Dashboard にアップグレードする前に、TPM パーティションを確認する必要があります。



- (注) TPM は、DCNM 11.x リリースの要件ではありません。したがって、デバイスがこの問題の影響を受けている場合でも、この問題はデバイスの既存の DCNM 11.x 機能には影響しません。Cisco Nexus ダッシュボードへのアップグレードを決定するまで、これ以上のアクションは必要ありません。

Cisco DCNM-SE がこの問題の影響を受けているかどうかを確認するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 **sysadmin** ユーザーを使用して Cisco Application Services Engine に SSH で接続します。

ステップ 2 次のコマンドを実行して、モデルとそのベンダーのリストを表示します。

```
lsblk-S
```

```
[root@dcnm-se-active sysadmin]$ lsblk -S
NAME        HCTL          TYPE    VENDOR  MODEL          REV  TRAN
...
sdc         0:2:2:0      disk    Cisco   UCSC-RAID12G-2GB  5.10
sdd         0:2:3:0      disk    Cisco   UCSC-RAID12G-2GB  5.10
sde         0:2:4:0      disk    Cisco   UCSC-RAID12G-2GB  5.10
sdf        7:0:0:0      disk    UNIGEN  PQT8000          1100 usb /*identiifying device
from UNIGEN Vendor*/
sdg         8:0:0:0      disk    UNIGEN  PHF16H0CM1-ETG   PMAP usb
sdl         1:0:0:0      disk    ATA     Micron_5100_MTFD H072 sata
...
```

UNIGEN ベンダーのアプリケーションサービスエンジンがデバイス名 **sdf** で検出されました。

ステップ 3 次のコマンドを実行して、ディスクのパーティションを表示します。

lsblk -s または **lsblk**

• 例 1

次の例は、2つのパーティション **sdf1** と **sdf2** で機能する TPM ディスクを示しています。これは、問題なく Cisco Nexus ダッシュボード ソフトウェアでインストールできます。

```
[root@dcnm-se-active sysadmin]$ lsblk
NAME                MAJ:MIN RM   SIZE RO TYPE MOUNTPOINT
...
sdc                  8:32   0   2.2T  0 disk
sdd                  8:48   0   2.2T  0 disk
sde                  8:64   0  371.6G  0 disk
sdf                 8:80   1    7.7G  0 disk /*functioning TPM with partition*/
  |--sdf1             8:81   1     60M  0 part
  |--sdf2             8:82   1    3.7G  0 part
nvme0n1              259:0   0   1.5T  0 disk
  |--nvme0n1p1        259:1   0    1.5T  0 part
    |--flashvg-flashvol 253:3   0    1.5T  0 lvm  /var/afw/vols/data/flash
...
```

• 例 2

次の例は、デバイス **sdf** でパーティションが定義されていない、不良または破損した TPM ディスクを示しています。このユニットは Cisco Nexus Dashboard ソフトウェアのインストールには使用できないため、交換する必要があります。

```
[root@dcnm-se-active sysadmin]$ lsblk
NAME                MAJ:MIN RM   SIZE RO TYPE MOUNTPOINT
...
sdc                  8:32   0   2.2T  0 disk
sdd                  8:48   0   2.2T  0 disk
sde                  8:64   0  371.6G  0 disk
sdf                 8:80   1    16G  0 disk /*corrupted TPM without partition*/
nvme0n1              259:0   0   1.5T  0 disk
  |--nvme0n1p1        259:1   0    1.5T  0 part
    |--flashvg-flashvol 253:3   0    1.5T  0 lvm  /var/afw/vols/data/flash
...
```

ステップ 4 デバイスにパーティションのない TPM ディスクがある場合は、Cisco Technical Assistance Center (TAC) に連絡して RMA を開始し、デバイスを交換してください。

TPM にパーティションがある場合、これ以上の操作は必要ありません。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。